



2月2日 仁賀保地区座談会



2月7日 岩城・大内地区座談会



2月8日 矢島・由利・鳥海地区座談会



2月9日 本荘・東由利地区座談会

令和5年度 地区座談会開催!

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141(代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp

▶ 令和5年度 地区座談会 開催 ◀

2月2日（金）～9日（金）の期間、各地区で地区座談会が開催されました。小松組合長の挨拶に続き、参事・各課長が今年度の組合経営状況と、各部門の事業進捗状況等を報告しました。座談会では組合員の皆様から多数のご質問をいただきましたので、各地区での会の様子も添えていくつかご紹介いたします。

【2月2日・にかほ市総合福祉交流センタースマイル】

仁 賀 保 地 区

Q. 間伐は何年生までが補助対象になるのか。また、植栽することを考えると間伐を繰り返して大きく育てた方がいいという話もあるが、太すぎてもお金にならないとも聞くので、今後どのように進めていけばよいのか。

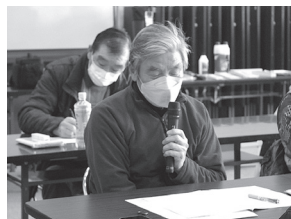
A. 間伐の補助は100年生までが対象です。一番高値がつくのは24～34cmですが、同じ林齢でも林分によって違いがありますので、一度支所にご相談ください。再造林は通常の補助金以外の手当てもありますので組合としても進めやすいと思っております。

Q. 植林や下刈りはどれくらいの費用になるのか。また、その後の手入れは自分たちでやらなければならぬのか。

A. 再造林に対する手当てがあります。それを事業費に充ててもいくらか手元に残るはずですので、残りを植栽後の下刈り費用に充てていただければ実質費用負担なく森林組合で作業ができるはずです。ただし、この制度は現状令和7年度までとなっておりますのでご注意ください。

Q. 再造林補助は令和7年度までとのことだが、それ以降はどうなるのか。

A. 【県からの回答】再造林は県も力を入れている施策なので市町村も含めてずっと続けていくものと思っておりますが、制度開始当初の予算策定の関係上、令和7年度以降については確約できません。



【2月7日・岩城総合支所亀田出張所】

岩 城 ・ 大 内 地 区

Q. 木材単価が上昇傾向に持ち直しているようだが、立木売却の際に反映されているのか。

A. 昨年秋季までは価格が大きく落ち込み、ようやくややく上昇傾向が見られている状況ですが、価格が一定せず基準価格を設定することが難しくなっております。現在は昨年の安値から適正価格を再設定し、都度買取価格に反映させております。

Q. 相続登記の義務化について、所有地がわからない場合は森林組合に聞けば確認できるのか。

A. 山林については支所にてある程度の場所の特定が可能ですが、山林以外の土地については当組合では分かりかねる部分ですので、司法書士にご相談ください。

Q. 昨年集落での林道の草刈り作業中にクマに遭遇した。被害はなかったものの、クマの領域が広がっていると感じる。国道・県道沿線の草刈りをすることで範囲を狭めることができるのではと思うのだが、事業化の見込みはあるのか。

A. 【県からの回答】緩衝帯整備事業として、見通しを良くするために行う事業がありますので、こちらをご活用いただきたい。



矢島・由利・鳥海地区

【2月8日・由利コミュニティセンター善隣館】

Q. 秋田県はSDGsの先進県になれるのではないかと思っ
ているが、そこまで予算をかけていないように感じる。
今後の方針についてはどのように考えているのか。

【県からの回答】

A. カーボンニュートラル実現に向けて、秋田県の役割は非
常に大きいと考えています。山を若返らせることにより
二酸化炭素の吸収量が増えるので、循環利用のための再
造林促進に力を入れています。

Q. 薪の値上げと注文できる張数の制限をかけた理由が知り
たい。

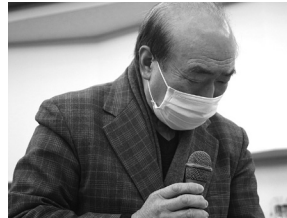
A. 経費上昇やナラ枯れ被害によって良質な薪材が取れなく
なってきたこと、また人手不足による現場作業員の
減少が大きな要因です。

Q. 40〜50年ほど前に県から頼まれて山に挿し木を植えたが、
その後の報告がないので現在はどうなっているのか。

A. 確かにそのような研究をしていた時期があり、挿し木で
も普通の苗木と同等の生育があったようですが、その後
研究が頓挫したため報告がなかったものと思われる。

Q. 外国では下刈り作業を省いて除草剤で下草を処理してい
るという話を聞いたが、そのやり方でも補助対象になる
のか。

【県からの回答】
A. 今現在は対象ではありません。薬剤を使うことによる悪
影響が考えられるため、検討もされていないようです。



本荘・東由利地区

【2月9日・由利本荘市文化交流館カダーレ】

Q. 燃料代の上昇は、事業費にどれくらいの影響があるもの
なのか。

A. 過去には1,000円/石という価格が定石でしたが、
燃料代も含めた価格高騰により約20%の上昇率となっ
ています。

Q. 相続財産として、山は負の遺産と言われているよう
ですが、どのように山の価値を伝えていくべきなのか。

A. 現在は木材価格も上昇傾向にあり、手入れをすれば
将来良くなると思っておりますので、決して負の遺産で
はないと考えています。

Q. スギ花粉飛散による花粉症対策における60〜70年の高樹
齢スギ林の伐採について再造林も含めてどう進めて行け
ばいいのか教えてください。

A. 伐採後の土砂崩れなど災害の可能性がない箇所は皆伐し、
再造林すべきかと思われます。環境に応じた適切な施
業を行うため、一度当組合にご相談ください。また、花
粉飛散の少ないエリートツリーの研究も進んでおり、4〜
5年後には実用化されるのではないかと状況です。

Q. 山に隣接する林道の手入れや草刈り作業は補助金の対象
にならないのか。

A. 市の森林環境譲与税に森林施業活性化を図るために林道
の修繕を進める項目があります。採択条件もありますの
で、一度支所にご相談ください。



第29回 造林コンクール表彰授与式及び林業講演会

- ◆ 最優秀賞 (由利地域振興局長賞)
収穫間伐の部 須藤 辰義 氏 (仁賀保地区)
- ◆ 優秀賞 (由利森林管理署長賞)
保育間伐の部 佐藤 聡彦 氏 (本荘地区)
- ◆ 優良賞 (県森連会長賞)
収穫間伐の部 小松 真史 氏 (東由利地区)
- ◆ 入賞 (森林組合長賞)
枝打ちの部 菊地 憲 氏 (大内地区)
収穫間伐の部 正眼寺住職
藤原 晃徳 氏 (岩城地区)
収穫間伐の部 眞坂 孝衛 氏 (鳥海地区)

※受賞林分の写真は最終ページに掲載しています。

2月16日(金)、第29回造林コンクール表彰授与式及び林業講演会が本荘グラウンドホテルを会場に開催されました。今回は3部門6点が入賞し、由利地域振興局長、由利森林管理署長、秋田県森林組合連合会長、本荘由利森林組合長から各賞が授与されました。



審査講評

◆ 最優秀賞 須藤 辰義 氏 (仁賀保地区)

上層木を中心に間伐し、間伐木は、製材、チップ用など販売先に見合った適切な採材で、余すことなく利用されているほか、搬出路には間伐木を敷設し、搬出コストは勿論、将来的な山林の維持管理コストの軽減を図る工夫も施している。

◆ 優秀賞 佐藤 聡彦 氏 (本荘地区)

形質不良木を主体に間伐し、適度な本数密度が維持されているほか、間伐木は今後の施業の支障とならないよう、細かく玉切りされている。

◆ 優良賞 小松 真史 氏 (東由利地区)

県道に隣接した恵まれた立地条件となっており、間伐木は、製材、合板、チップ用として、余すことなく利用されているほか、枝葉や残材もよく整理されている。

◆ 入賞 菊地 憲 氏 (大内地区)

起伏に富んだ林分から、部分的に日照条件が異なるため、成林木に形質的なバラつきがあるものの、枝打ちは、地上高及び切り口とも、全木均一的に実施されている。

◆ 入賞 正眼寺住職 藤原 晃徳 氏 (岩城地区)

成林木の生育状態にややバラつきがあるものの、間伐木は、製材、チップ用として余すことなく利用されており、枝葉や残材もよく整理されている。

◆ 入賞 眞坂 孝衛 氏 (鳥海地区)

林内密度が若干高い傾向となっているものの、間伐木は、製材、チップ用として余すことなく利用され、枝葉や残材も概ね整理されている。

AAB秋田朝日放送の情報番組「サタナビっ!」へ撮影協力

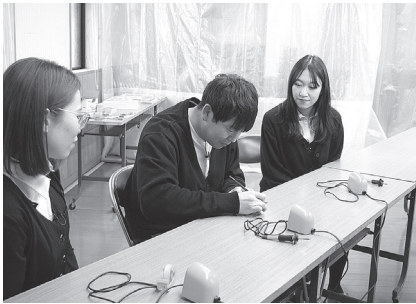
毎週土曜日9時30分より放送しているAAB秋田朝日放送の情報番組「サタナビっ!」内の「森林同好会」コーナー（1月20日放送分）に本組合職員が出演しました。

今回は主に、西目製材工場内で行っている作業の説明や当組合の森林組合まつりではお馴染みとなっているウッドバーニング*を出演者の方が体験する様子の撮影を行いました。

撮影前、職員は緊張した面持ちでしたが、コーナーを進行して下さった秋田県住みます芸人『ちえす』の長谷川さんが、撮影中だけでなく合間でも場を盛り上げてくださり、和やかな雰囲気の中で無事に撮影を終えることができました。

この放送を通じて、今まで当組合や林業について知らなかった方が興味を持ったり、関心が高まるきっかけになったのではないのでしょうか。

*ウッドバーニング：電熱ペンを使って木を焦がし、絵や模様を描く技法のこと。



製材最大手・中国木材(株)の堀川智子会長の講演会が1月30日(火)、ホテル・アイリスで開催されました。子吉川流域林業活性化センター(会長 湊貴信由利本荘市長)の主催。講演のテーマは「ウッドショックから林業再生、そしてカーボンニュートラルへ」。スギやヒノキの二酸化炭素吸収量を高める再造林の重要性や、収益がでる林業を実現するための育林コスト削減の必要性など、クオリティーの高い先進的な話に、県内各地から参加した行政、林業関係者ら120名が熱心に聞き入りました。また、講演後の質疑応答で堀川会長は、能代新工場の今後の展開にも触れました。原木の受け入れが能力を上回る状況となった場合は、増設を検討する考えを明らかにしたほか、国内マーケットの動向を注視しつつ、時機を見てツーバイフォーやCLT(直交集成材)の生産にも取り組む可能性を示唆しました。

かつて、能代港から製品を輸出するなど、東洋一の木都と称されるほど飛躍的に発展した能代。中国木材は、令和の時代にどんな繁栄をもたらすのでしょうか。期待はますます高まります。

**子吉川流域林業活性化センター主催
中国木材(株)堀川会長講演会開催!**

木材市況情報 (令和6年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m 当り 価格

樹種	材長 m	径級 cm	1月11日			2月2日			3月4日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	14下									
		16~22	(3,756) 13,524	(3,750) 13,503	(3,752) 13,510	(3,804) 13,695	(3,784) 13,623	(3,789) 13,643	(3,809) 13,715	(3,806) 13,704	(3,807) 13,708
		24~34	(3,977) 14,320	(3,888) 14,000	(3,941) 14,189	(4,086) 14,710	(4,014) 14,452	(4,059) 14,614	(3,961) 14,260	(3,904) 14,056	(3,922) 14,121
出材量・販売量・販売率			451m ³ (1,623石)・451m ³ (1,623石)・100%			511m ³ (1,839石)・511m ³ (1,839石)・100%			522m ³ (1,879石)・522m ³ (1,879石)・100%		

1月：常連の量産工場、地元勢、山形県勢が参加し、完売。前回より強含みで適材原木が不足していることと、市況がやや好転していることも影響した。ただし、地場需要は依然振るわず、県外出荷の影響によるものと思われる。
2月：常連の参加で引き合いも強く完売。単価も強含みで相変わらず原木不足感がある。来月もこの傾向が続くものとみられる。
3月：製品市況の不振とは逆に適材原木の不足から常連以外の参加者もあり、引き合いも強く完売。今回の出品材の材質が良かったこともあり、単価も強含みの推移。

第29回 造林コンクール受賞林分



最優秀賞 収穫間伐の部
須藤 辰義氏



優秀賞 保育間伐の部
佐藤 聡彦氏



優良賞 収穫間伐の部
小松 真史氏



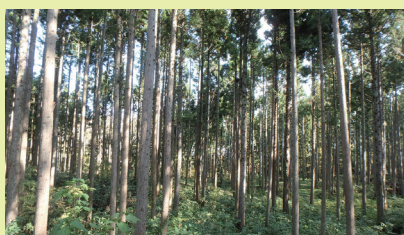
入賞 枝打ちの部
菊地 憲氏



入賞 収穫間伐の部
正眼寺住職 藤原 晃徳氏



入賞 収穫間伐の部
真坂 孝衛氏



森林組合だより 令和六年三月三十一日発行 印刷・筒由利印刷